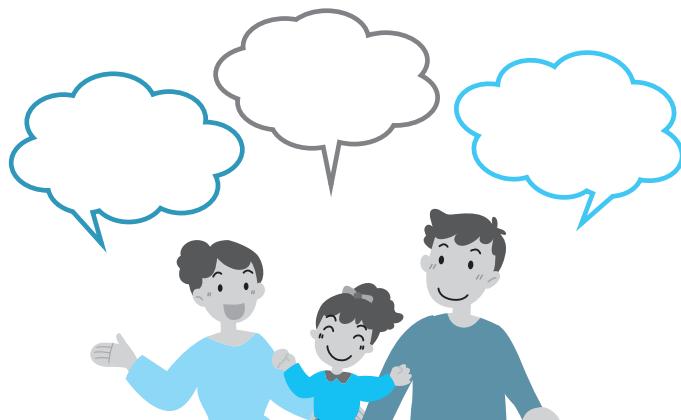


FBI/Child's Hospital Discharge-JA

(子どもの退院における家族ビリーフ尺度)



The Japanese Version of the Family Beliefs Inventory
Related to a Child's Hospital Discharge (FBI/Child's Hospital Discharge-JA)
© Naohiro Hohashi

ご記入にあたってのお願い

この質問紙は、**あなたの子どもの退院**に対するご家族のビリーフ（思い、物事のとらえ方）についてお尋ねするものです。次ページから始まる23項目は、程度の差はあっても、ご家族がもつている可能性のあるビリーフです。各項目に対して、“考えたことがない・そう思わない”から“とてもそう思う”までの5段階の中で、**あなたの思いや考え**に最も近いものひとつを○で囲んでください。また、〔 〕内については、該当するもの（最も近いもの）ひとつを○で囲むか、“その他”の下線部にご記入ください。書き損じた場合、大きく×（バツ）印で取り消してください。正しい答え、間違った答えというものはありません。一般的に望ましいとされることにとらわれず、あまり深く考え込みず、第一印象を大切にして23項目すべてに答えてください。

あなたの“家族”とは、あなたが家族であると考えるひとびと（あなた自身を含む）のことです、例えば、親、婚姻関係が成立している配偶者・パートナー（同棲・内縁・事実婚関係者も含む）、子どもなどで構成されます（同居の有無は問いません）。ただし、亡くなったひと、お腹の中の赤ちゃん、ペットは含みません。また、**“子ども”とは18歳未満の子ども全員**をさします（例えば、実子、養子、孫、ひ孫など）。

記入例：

(ひとつだけ○で囲む)

考えたことがない そう思わない	どちらかといえな いと思ふ	ややそ うと思 ふ	そ う思 ふ	と てもそ う思 ふ
--------------------	------------------	-----------------	--------------	---------------------

↓ ↓ ↓ ↓ ↓

1 医師の指示には従わなければならない

0 1 2 3 ④

現在の医師の指示は、〔 a) 退院可 b) 入院継続 c) その他 () 〕

(ひとつだけ○で囲む)

考 え た こ と が な い ・ そ う 思 わ な い	ど ち ら か とい え ば そ う 思 う	や や そ う 思 う	や や そ う 思 う	そ う 思 う	と て も そ う 思 う
	↓	↓	↓	↓	↓

1 医師の指示には従わなければならぬ

0	1	2	3	4
---	---	---	---	---

現在の医師の指示は、 [a) 退院可 b) 入院継続 c) その他 (_____)]

2 医師への信頼は、治療やその方針を選択するときの前提になる

0	1	2	3	4
---	---	---	---	---

現在の医師との関係は、 [a) 信頼して退院 (予定) b) 信頼して入院継続 c) 信頼できず退院 (予定)

d) 信頼できないが入院継続 e) その他 (_____)]

3 子どもの病状を第一に考えて、最善の選択をするべきである

0	1	2	3	4
---	---	---	---	---

現在の子どもの病状は、 [a) 退院できる b) 退院できない c) その他 (_____)]

4 病院は病気や障がいを回復・改善してくれる場所である

0	1	2	3	4
---	---	---	---	---

現在は、 [a) 回復・改善を期待して入院継続 b) 回復・改善は期待できないが入院継続

c) 回復・改善は見込めないので退院 (予定) d) 回復・改善したので退院 (予定)

e) その他 (_____)]

5 病気や障がいへの差別・偏見によって、子どもが教育・保育機関に馴染みにくい

0	1	2	3	4
---	---	---	---	---

6 社会の理解が得られず、子どもや家族が生活しづらい

0	1	2	3	4
---	---	---	---	---

7 家族は一緒に暮らすものである

0	1	2	3	4
---	---	---	---	---

8 子どもは家庭で親自身が育てるものである

0	1	2	3	4
---	---	---	---	---

9 入院中の子どものために、最善の努力を尽くすしかない

0	1	2	3	4
---	---	---	---	---

現在は、 [a) 退院が最善 b) 入院継続が最善 c) その他 (_____)]

(ひとつだけ○で囲む)



10 病気や障がいがあるこどもも、家庭で生きることができる

0	1	2	3	4
---	---	---	---	---

11 こどもと家族が一緒に生活できることは幸せである

0	1	2	3	4
---	---	---	---	---

12 家庭での生活は、こどものためになる

0	1	2	3	4
---	---	---	---	---

13 退院後のことのケア（日常の世話）は家族ができる

0	1	2	3	4
---	---	---	---	---

14 病気や障がいがあっても、こどもを育てていく役割は母親が自宅で行うべきである

0	1	2	3	4
---	---	---	---	---

15 病気や障がいのあるこどもを育てていくことは大変なことである

0	1	2	3	4
---	---	---	---	---

16 病気や障がいのあるこどもを育てていく家族の力には限界がある

0	1	2	3	4
---	---	---	---	---

17 家庭でのことは、家族でなんとかしていくものである

0	1	2	3	4
---	---	---	---	---

18 こどもが退院すると、家族の望む生活ができなくなる

0	1	2	3	4
---	---	---	---	---

19 在宅療養（入院中のこどもと家庭で生活）するには、外部からのサポートが必要である

0	1	2	3	4
---	---	---	---	---

20 家族は幸福を求める

0	1	2	3	4
---	---	---	---	---

21 家族は大切な存在である

0	1	2	3	4
---	---	---	---	---

22 家族にとって、こどもは愛しい存在である

0	1	2	3	4
---	---	---	---	---

23 ひとの命には意義がある

0	1	2	3	4
---	---	---	---	---

使用上の注意：FBI/Child's Hospital Discharge-JA は、
研究・実践・教育を目的とする場合は、出典を引用すれば、
無料で自由に使用できる。



開発者 : 法橋尚宏, 岩渕直美, 本田順子

開発論文 : Hohashi, N., Iwabuchi, N., & Honda, J. (2025). Validity and reliability of family beliefs inventory related to a child's hospital discharge. *Open Journal of Nursing*, 15(10), 869-909. <https://doi.org/10.4236/ojn.2025.1510064>

ウェブサイト : <https://nursingresearch.jp/>

開発歴 : Jan. 21, 2013 1.0JA 発行
Jul. 19, 2017 1.1JA 発行
Sep. 18, 2025 1.2JA 発行